



くん ふう 薫風

6月号

R8年度

学校教育目標

「心豊かに 共に伸びゆく生徒」

— 時を守り 場を清め 礼を正す —

発行：八條中学校 Tel936-2121

さわやか相談室 Tel935-6728

<http://www.yashio-hachijo-jh.ed.jp/>

挑戦の先にあるもの

校長 金塚 和美

初夏のまぶしい青葉を揺らす風が吹き抜け、いよいよ本格的な夏の訪れを感じる季節になりました。新しい環境への期待と緊張感でいっぱいだった四月、五月が過ぎ、学校生活もいよいよ軌道に乗り始めています。特に一年生は、日々の授業や部活動、委員会などの活動に一生懸命取り組むなかで、その表情や姿に少しずつ中学生らしい自覚と頼もしさが見えてきたことを、とても嬉しく思っています。

今回は、中学校生活で心がけてほしいことのふたつ目、「挑戦する」ということについてお話しします。突然ですが、皆さんは「成功」の反対にある言葉は何だと思えますか。言葉の上では「失敗」ですが、人の生き方や成長において「成功」の反対は、実は「何もしないこと」です。新しいことに挑もうとするとき、私たちは「うまくいかなかったらどうしよう」と不安になりがちです。しかし、最初からすべてを完璧にこなせる人はいません。大切なのは、恐れずに「やってみよう」と自ら一步を踏み出すことです。もし途中でうまくいかないことがあっても、そこで立ち止まらずに「次はこうしてみよう」と工夫し、改善を重ねていく。この試行錯誤を繰り返すプロセスこそが、何ものにも代えがたい経験になります。小さな成功の積み重ねが、やがて皆さんを支える大きな「自信」へと変わっていくのです。自分から「行動を起こす」ことこそが、「挑戦する」ということなのです。

これからの中学校生活では、日々の学習や部活動、学校行事など、様々な挑戦の機会が皆さんを待っています。その中での体験のひとつひとつが、皆さんという人間を形作る確かな財産になり、これからの人生を支える土台になります。まずは、少しがんばれば手が届きそうなことから挑戦してみてください。「毎日5分早く起きる」「授業中に一度は手を挙げる」「復習はその日のうちにする」など、小さな目標で十分です。なりたい自分を思い描いて目標を定め、粘り強く挑戦を重ねて、一人ひとりの成功を手にしてほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちが失敗を恐れず前を向いて一步を踏み出せるよう、ご家庭でも温かく見守り、背中を押していただければ幸いです。」

